

令和7年2月28日

世田谷区立千歳台小学校
校長 寺村 尚彦 様

令和6年度 千歳台小学校関係者評価委員会 提言書

船橋希望学舎 世田谷区立千歳台小学校
学校関係者評価委員会 委員長 加藤 久実子

1 活動日程と活動内容

令和6年度における千歳台小学校関係者評価委員会は以下の日程で行いました。

令和6年 7月18日 関係者評価委員会委員長選出 学校経営方針の説明
千歳台小学校独自項目の設定 情報交換

令和6年 9月12日 回答率増加対策検討 情報交換

令和6年 10月17日より アンケート実施

令和6年 12月12日 学校関係者評価 集計結果の分析と考察

令和6年 2月28日 千歳台小学校への提言完成

2 アンケート調査の概要

■アンケート調査実施日

令和6年10月17日（木）～31日（木）（Webでの回答）

■アンケート調査対象者

■回収数（回収率）

児童 5年生 108名
6年生 99名

児童 5年生 104名 (96%)
6年生 82名 (83%)

R5

保護者 1年生 94名
2年生 88名
3年生 104名
4年生 95名
5年生 108名
6年生 99名
合計 588名

保護者 1年生 66名 (70%) ←50%
2年生 52名 (59%) ←61%
3年生 71名 (68%) ←53%
4年生 65名 (68%) ←43%
5年生 68名 (63%) ←46%
6年生 59名 (60%) ←43%
合計 381名 (65%) ←48% (297/613名)

地域 17名

14名 (82%)

世田谷区では、提出方法が変更され今年度も電子データでの提出となった。昨年も回収率が低かったため、今年度は、アンケートを行う目的や意義などを伝えるオリジナルの手書きポスターを作成した。認知度を高めるにそのポスターを学校公開で掲示したり、「すぐーる」にて何度も伝えたりした。その結果、回答率は65%にまで上昇した。（前年度は48%）

3 評価報告

学校関係者評価委員会において、令和6年度の学校関係者評価アンケートの結果をもとに総合的な評価を行いましたので、以下の通り報告いたします。

(1) 【学習指導】

- 「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」の項目で、肯定的な評価の児童は95%、保護者は83%であった。

教師が一方的に説明するだけの授業ではなく、子どもたちの話し合いの中から気付かせたり、課題を解決させたりする授業が心がけられている。今後も、子どもたちの主体性を大切にした授業を継続することが必要である。

- ICT機器の利用面では、「映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている」の項目で、肯定的な評価の児童は88%、保護者は72%であった。

授業での意見交流や課題提出、児童の係活動や連絡の伝達など、様々な使い方が広がっている。学習の記録としても残り、とても有意義である。

一方、タブレットの経年劣化による故障が増えてきている。また、タブレットの長時間使用や使用の仕方、情報モラルについては課題があり、保護者の協力を得ながら、解決を図っていく必要がある。

(2) 【生活指導】

- 学校での過ごし方やルールについて、「学校は指導している」児童は73%、保護者は71%、「子どもたちは理解している」児童は87%、保護者は80%であった。

何のためにルールがあるのか、みんなが守ることによってどのようなよさが生まれるのか、ルールの意義について子どもたちに考えさせたり、伝えたりしていただけている。

一方で「学校は指導している」か分からぬ保護者が17%いた。情報発信の工夫が必要である。

(3) 【学校行事】

- 「学校行事は、子どもにとって楽しい」の項目で、児童・保護者共に肯定的な評価は、95%前後、「学校行事は、達成感がある」の項目も、児童・保護者共に肯定的な評価は、90%前後、地域の方の「学校行事の内容は充実している」は93%、と高い評価であった。

運動会や学芸会、遠足などコロナ以前の活動を取り戻しつつ、今の学校の実態に合わせて、教職員、保護者の協力のもと開催された。千歳台小学校では、学校行事を通して、非認知能力の育成を図っている。今後も、子供たちにとって意義のある学校行事の実施を継続してほしい。

(4) 【キャリア教育】

- 「生き方や将来のことについて考える授業をしている」の項目で、児童69%、保護者41%の肯定的な評価であった。また、保護者の無回答が34%もいる。キャリア教育は授業

中にテーマが扱われていても子どもが気付かない、保護者も知るすべがない、という状況に見受けられる。引き続き、学校側との共通認識づくりが課題となろう。

(5) 【教職員】

- ・「丁寧に指導している」の項目は、児童89%、保護者81%の肯定的な評価であった。

様々な教育課題がある中で、色々と対応いただいている。日々、熱心に学習指導や生活指導に当たってくださっているという声を聞いている。

- ・「相談できる」の項目は、児童65%、保護者69%の肯定的な評価であった。

先生方が多忙なため、なかなか話しかけられない、相談がしにくい状況も考えるのではないか。先生方が広く受け入れられるような、体制の整備も必要ではないか。

(6) 【学び舎の活動】

- ・「学び舎による連携や交流活動が行われている」の項目は、肯定的な評価の保護者は53%であった。「分からぬ」と回答した保護者が28%、地域の方は27%であり、キャリア教育同様「分からぬ」と回答した割合が高かった。

千歳船橋中学生とのあいさつキャンペーンを見ることがあるが、保護者にとっては、自分の子どもの学年によって関り方に違いがあり、情報の受け取り方にも差があることも考えられる。児童・保護者からは見えにくいのである。

(7) 【情報提供】

- ・「様々な便り、ホームページなどで、保護者に情報を提供している。」の項目は、肯定的な評価の保護者は92%、地域の方は73%であった。また、保護者の「学校の重点目標を伝えている。」69%、地域の「学校の重点目標が明確である。」80%が肯定的な意見であった。

基本的には、日々の学校の様子、子どもたちの様子がよく伝えられていて、とてもありがたい。但し、個々には十分な情報提供がされていないこともあります、無理なく、可能な限り取り組んでいただけるとうれしい。

(8) 【家庭との連携】

- ・「学校公開にすすんで参加している。」は、90%の保護者が該当していたが、「学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで参加している。」の項目は、60%であった。

共働きなどで保護者も多忙となってきているため、なかなか参加できない様子である。そのため、せめて学校公開は、と参加できているのではないか。

(9) 【地域との連携】

- ・学校は、「地域の人や施設を教育活動に活かしている。」「地域活動などに協力的である。」は、保護者の77%、地域の87%の保護者が肯定的な評価である。

保護者に授業のお手伝いに参加してもらったり、先生方がめばえまつりなどで力を貸してくれたりしている。可能な範囲で工夫して取り組んでいただいている。今後も継続してほしい。

(10) 【学校の安全性】

- 「安全な学校づくりをすすめている。」は保護者79%、地域93%、「子どもに安全に関する指導をしている。」は94%の保護者が肯定的な評価である。

毎月の避難訓練やセーフティー教室などで、子どもたちの「自助」の力を高めさせていく。自分自身の安全を守ることがまず大切であるので、今後も継続してほしい。

(11) 【本校独自項目】

- 「子どもは礼やあいさつをしている」は60%、「丁寧な言葉遣いをしている」は73%が地域の方の肯定的な評価であった。

昨今の社会情勢からあいさつをすることを踏み止まらせてしまう面もあるかもしれない。大人からあいさつを続けることで、子どもたちを見守っていきたい。

- 「登下校」のルールを守っているは67%、「公園」のルールを守っているは60%が肯定的な評価であった。

交通安全には十分に気を付けてほしい。また、遊ぶ場所が限られている環境ではあるが、安全に気を付けて遊んでほしい。